

うふうな感じなんですよ。ですから、もちろん仕事に楽なものはありませんけども、そういったこのイメージも払拭していただきたいなというふうに思うんですね。

市長にお尋ねしますが、やはり実際にそういった面があって、そういった方が正職員になって、その介護をやってみようかと頑張ると、当然年収も上がりますから、そして所得も上がる、市民税も上がる、消費もすると。もし若い人でしたら結婚、出産ということにもなると、これも何回も申し上げてきたんですけど、こういったことを具体的に取る必要があるのではないかと。まず進路指導、高校生にアンケートとりますと、地元に戻ってきたいと、高校卒で地元就職したいという方も結構いらっしゃるんですよ。で、短大、大学に行って、戻ってきたいと、地元、そういった方もいらっしゃるんですけども、やっぱり仕事がないとそれは果たせないわけですよ。ですから、こういうことを教育委員会等と話をされて進路指導に、もしかしたら今現在、働いている方なんかを出前させていただいて、本当にきちっと伝えるようなご努力をすべきだと思うんですけども、いかがでしょうか。

○小関秀一委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 五十嵐委員おっしゃるように、そういった介護福祉関係の施設で働いていらっしゃる女性の方なんかの表情を見てみると、生き生きと、しかも若い女性も結構いらっしゃるんですね。ある施設でお聞きしましたら、うち全体で今、育休とってるのが14人いる。すごいなというふうに思いましたね。やっぱりそれだけ女性が支えてるし、若い人たちも決して嫌がらずに、むしろ生きがいを持ってずっと働き続けたいという意思がちゃんとあって、そういう法人側もそれに応えられるような体制をとってるなと思ってます。

そういった意味では、五十嵐委員おっしゃる

ように、とにかく中高生とか、ちょっとイメージ的にほんの一握りですよ、ほんの一握りっていうか、全国に何千何万とあるうちの1つ、2つが、例えば何か事件を起こすと、ああ、やっぱり介護って大変だなというふうについつい思われてしまう。こういったところを払拭するためにも実態を、子供たちに教えなきゃいけないと思ってます。そういった意味では、中学、高校生の進路指導時の情報提供、これをきちっと先生方にも理解してもらわないと、誤った情報を伝えてしまう可能性がある。あとはハローワークと連携をしっかりとしなきゃいけないと。非正規雇用で正職員採用の仕事を希望する方への支援等々を厚くしなきゃいけないなと考えているところでございます。

○小関秀一委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 ありがとうございます。

○小関秀一委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これから細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いをいたします。

認第1号 平成28年度長井市歳入歳出決算認定についての質疑

○小関秀一委員長 それでは、認第1号 平成28年度長井市歳入歳出決算認定についての一般会計の歳入から順次質疑を行います。

まず、認第1号の一般会計の歳入全部について質疑を行います。事項別明細書74ページから121ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結

いたします。

次に、認第1号の一般会計の歳出について質疑を行います。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。124ページから163ページまででございます。ご質疑ございませんか。

5番、平 進介委員。

○5番 平 進介委員 質疑をさせていただきます。

6目企画費、137ページ、003のふるさと納税事業で、総合政策課長になりますね、市長ではないもね。ここで4億8,784万2,569円が事業費ということであります。ふるさと応援基金の積立金が2億8,222万2,904円というふうになっています。主要な施策の成果報告書のこの2ページを見て、ここにふるさと納税事業とありますけども、28年度の長井市ふるさと応援寄附金が1万8,962件で、この金額が2億8,185万208円と、ちょっと微妙に違うところがあるんですが、どっちが正しいのかっていうふうな、それも含めてちょっと後でお答えいただきたいというようなことと、今、全国的に加熱する返礼品合戦というようなことがあって、総務省で今年度に入って、その返礼品の調達額の目安を3割以下にするような、商品券、家電などを贈らないようにというようなことを通達などが来たというようなことであります。

で、長井市の平成28年度の決算でいきますと、この件数については、この主要施策の成果報告書の1万8,962件、これをとって、あと応援基金のほうについては決算書のほうの2億8,222万2,904円で、これを割り返すと、1件当たり1万4,883円になるようであります。

一方で、返礼品に報償費あります。これが1億9,009万8,495円になりますが、これを1件当たりになると、この1万8,962件で割ると、8,390円で、1件当たりの寄附金が1万4,883円で、それに対する返礼品の報償費が1件当たり

8,390円というふうな格好になってくるんですが、これでいくと、この割合が56.4%というふうになるように、ちょっと私、計算してみたんです。去年のその同じような計算でいうと、去年が45.8%になって、ことし10%ぐらい伸びているというようなことに見えるんですが、この要因といいますか、その辺も含めて最初にお聞きをしたいというふうに思います。総合政策課長。

○小関秀一委員長 竹田利弘総合政策課長。

○竹田利弘総合政策課長 お答え申し上げます。

3点あったと思いますが、まず、第1点目ですけども、この金額の差、80万円ちょっとですけども、昨年ベビーボックスの関係のガバメントクラウドファンディングを行ったものですから、成果報告書のほうの2億8,185万208円にはその金額が入っておりませんで、その他特財の282,223千円のほうにはガバメントクラウドファンディングのほうも入っておりますので、その分の差額でございます。

あと、第2点目で3割の返礼品云々ということ、お話でございますけども、総務省の通知とか、あと他団体の動向を見まして、冬ごろには、総務省通知のように3割に、いわゆるお礼品の額をするように、今検討中でございます。

あと、もう1点目ですけども、実はふるさと納税の仕組みでございますが、例えばなんですけども、一昨年と昨年と、返礼品のその割合が、お礼品ですね、の割合が違うということなんですけども、実は昨年度寄附をいただいて、今年度返礼品を返すということがございます。というのは、特にサクランボ、果物等について、特に大きいのはサクランボでございますが、1月、2月等に受け付けを開始して、あと実際にお返しできるのが6月、7月でございます。そうすると、地場産業振興センターのほうから当然購入をして返すわけですけども、支払いはその分を2月、3月にお金を払うんじゃなくて、当然

6月、7月に払いますので、発送後に払いますので、そこで差が出てきております。

あと、一昨年、昨年と、二十六、七と金額が伸びたものですから、28年度の決算のほうで実はサクランボ等の返礼品の数が大変非常に多くなりまして、返礼品の額が伸びたと。ただ、今のところ長井市でお返ししてるそのお礼の品の割合でございますが、ほぼ5割というふうになっております。以上でございます。

○小関秀一委員長 5番、平 進介委員。

○5番 平 進介委員 ありがとうございます。

27年度分の寄附で28年度分で返礼品を返しているというような状況があるので、少し%が高くなっているというふうなことでした。わかりました。

あと、今年度、楽天市場にも入った、取り扱いを開始したということで、あともう一つ、長井産のホップなども非常に好評だというふうなこと、今現在、今年度の分については伸びているというふうなお話などもあったわけですが、このふるさと応援基金の目標のところの設定というか、何ぼになって、3億円とか4億円とか、5億円とかってというような、そういう例えば目標設定なども市として考えているのかどうか。

それから、今ちょっとあったんですが、調達額の率の部分、大体50%ぐらいになってるとかっていうふうな話ですが、その辺のところをもう1回、総務省でいう求めてきている3割ぐらいというふうなところでおさめていいのかどうかって、ちょっと少し疑問に思うんですが、その辺の考え方についてお聞きをしたいというふうに思います。

○小関秀一委員長 竹田利弘総合政策課長。

○竹田利弘総合政策課長 お答えいたします。

まず、2点質問があったと思いますが、まず第1点目の今年度の状況でございますが、楽天のほうにも広くPRということで、ことしから

というか、昨年3月の下旬から取り組んでおります。その結果もございましてということと、あと実は長井産のホップが全てキリンビールのほうに出荷して、いわゆる一番搾り、あっ、商品名もあれなんですけども、とある特定の商品に使われているということで、その商品をお礼の品に加えたところ、非常に好評でございまして、今のところのベースで昨年度比の同じ時期で約2倍になっております。金額的には2倍になっております。

あと、高額商品を見直しということで、総務省から指導がございまして、家電とかのプロジェクター等の高額商品、あとレンジ等の高額商品をやめたこともございまして、件数的にも倍近くになっております。そして、高額商品がなくなった分、いわゆるホップを使った商品、ビールのところ伸びているということでございます。ただ、総務省から全国の市町村、長井市にも来ておりますが、特に高額のお礼品を用意するところについては電話等でも指導があったようでございますが、長井市のほうにはそのことはございせんが、やはり総務省ではおおむね返戻率といいますか、そのお礼の品の率は3割程度とは強くは言わないけれども、それが目安ではないかということで電話でも言われたという他団体の情報もございまして、私どもでもそういった文書がある程度流れてきておりますので、やはり地場産業の振興という面から言えば3割にこだわらずに、5割でもいいのではないかと思うところもございまして、その辺は総務省のほうの見解ももうちょっと確かめた上で対処をしていきたいと思っております。

○小関秀一委員長 5番、平 進介委員。

○5番 平 進介委員 今、課長からあったとおり、長井市の産品、地場産のPR、そして振興というような部分ですから、私もそういった割合の部分にこだわらずというふうな思いが強いわけですが、ぜひたくさんの方に納税を

して応援をしていただいて、そして長井のものを贈るようなことにしていただきたいというふうに思います。

3点目なんで、最後になります。この成果報告書の今のふるさと納税事業の中で、問題点、改善点というところなんです。寄附者が納税したくなる寄附金の使い道の工夫など、取り組みを進めて寄附金の確保につなげていきたいというふうにまとめているわけですが、現時点でこういったものが考えられるというようなものがあれば教えていただきたいといます。

○小関秀一委員長 竹田利弘総合政策課長。

○竹田利弘総合政策課長 これにつきましては、全国各地のちょっと今、状況を把握している状態でございますが、より詳しくピンポイントな寄附を明示したほうが寄附をいただける確率が多いような傾向が見えますので、今、例えば子育てとか教育とかですと、漠然としたくくりになっておりますが、それをもうちょっとジャンルをふやしたり、もうちょっとピンポイントに事業名をある程度書いたほうがいいのかということも検討しておりますので、もう少し検討した上で、そのお礼品の率を見直しする際に、見直しもしていきたいと考えております。

○小関秀一委員長 ほかにご質疑ございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終わります。

次に、3款民生費、4款衛生費について質疑を行います。162ページから203ページまでであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終わります。

次に、5款労働費、6款農林水産業費について質疑を行います。202ページから225ページまでであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終わります。

次に、7款商工費、8款土木費について質疑を行います。224ページから259ページまでであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終わります。

次に、9款消防費から13款予備費までの質疑を行います。258ページから309ページまでであります。ご質疑ございませんか。

5番、平 進介委員。

○5番 平 進介委員 早くというようなことですが、1つだけなんで、9款の4目防災費のところ。001の防災対策事業、261ページで、ページめくって263ページの防災ラジオ購入費のところ。ここは総務課長になっていくのかなというふうに思いますが、ここの部分に関して、ちょっとお聞きをしたいといます。

この防災ラジオ購入費につきましては、この平成28年度から整備を始めまして、今年度、全市民対象に配布したということでありました。この効果についてはすぐに出てきたということでありました。先月の29日の北朝鮮が弾道ミサイルを発射したと。日本の上空、北海道襟裳岬上空を飛んで太平洋に落ちたと。また、今月に入って15日の早朝にも同じように飛んだということでありまして、長井市民に配布されたばかりの防災ラジオ、これも非常にタイムリーに活用できたわけでありまして、非常に防災ラジオの整備事業を進めてきたその長井市行政当局のこの考え方、行政に十分な理解を市民の方も示されたのではないかとこのように思っております。

それで、7月の段階でことしの分のちょっと話になって恐縮ですが、防災ラジオを整備、去年からして、ことしもなっているわけですが、そのまだ配布率が50%、60%台ぐらいというふうなお話だったわけですが、こういったも

のをもっと行政としてももう少し積極的に進めて、配布について進めるべきではないかなというふうな今回のその事態を見て思ったんでありますけども、その辺についてどうなのか、総務課長にお聞きをしたいと思います。

○小関秀一委員長 佐野安広総務課長。

○佐野安広総務課長 お答えいたします。

防災ラジオを配布いたしまして、その後、北朝鮮のミサイル発射等々ありました。1回目、地区を通して配布させていただきましたけれども、その後も問い合わせもございまして、総務課のほうにいらっしゃってお貸しいただけますかというか、そういう形でいらっしゃっております。北朝鮮の件があつてから、特に年配の方、ご夫婦でいらっしゃる場合もありますけれども、結構いらっしゃっておりますので、地区といいますか、防災組織を通しまして、1回配布しましたけれども、まだまだ配布できますからということでお知らせはしております。

いろんな場面でお知らせはしておりますけども、今回も10月1日に防災訓練、中央地区で行いますけれども、その際にももし必要であればお配りするとか、役所も近いわけなので、そういう形なるべく行き渡っていない世帯の方とか、私も地区を回ってみますと、お一人の世帯で遠慮しているという方も結構いらっしゃるようですので、今回の件を契機にといいまして、なるべく多くの世帯に渡るようにしていきたいなというふうに考えておるところでございます。

○小関秀一委員長 5番、平 進介委員。

○5番 平 進介委員 よろしくお願ひしたいというふうに思います。

それで、私もちょうど両方とも朝方だったので、すごい居間に防災ラジオを置いて、寝室のほうは少し離れてあるんですけども、朝方すごい不気味な音っていうかね、ウォーンと何かすごい、何だこれというような非常に耳ざわり

な音で、非常に気になる大きい音で、逆に効果的だったというふうに思うんです。

長井市の場合はおらんだラジオを整備して、そして防災ラジオを整備したという、ある意味ちょっと特殊な整備の手法だというふうに思うんですが、今はその屋内にいる人ですと、そういった防災ラジオで情報の提供できるっていうことでありますけども、外にいる人に対してのその情報の提供の部分についてどうするかという、ちょっと課題などもあるというふうに思うんですが、国では同報系とかっていうふうに言ってるわけですけども、そういったところの今後の整備の方針っていうか、考え方についてお聞きをしたいというふうに思います。

○小関秀一委員長 佐野安広総務課長。

○佐野安広総務課長 お答えいたします。

今現在、はっきりしたところはまだ固まっておりますけれども、今回2回北朝鮮のミサイル発射ということがございまして、当然朝方でございますので、外にいる方なり、登校している児童生徒にどういう形で情報が入るかというふうなことで、庁内でも話をしておりますが、その中でやはり同報系の設置ということも検討をしないといけないのではないかとすることは話題に出ております。今回の件が収束できればそれはそれでいいわけなんですけれども、今回の件がありまして、早急に検討するというところで、今総務課のほうでは対応しているところでございます。以上でございます。

○小関秀一委員長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の国民健康保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。312ページから337ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。340ページから349ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。352ページから355ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。358ページから365ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。368ページから371ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の介護保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。374ページから399ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の浄化槽事業特別会計歳入歳

出決算について質疑を行います。402ページから409ページであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。412ページから419ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。422ページから425ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で認第1号の質疑を終結いたします。

認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定についての質疑

○小関秀一委員長 次に、認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第68号 平成28年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての質疑

○小関秀一委員長 次に、議案第68号 平成28年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

平成28年度各会計決算認定についての表決

○小関秀一委員長 これから討論、表決であります。ご意見のある方は本会議においてご発言いただくこととし、この際、討論を省略し、直ちに採決をいたします。

まず、認第1号 平成28年度長井市歳入歳出決算認定についての1件について採決をいたします。

認第1号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

○小関秀一委員長 起立多数であります。よって、認第1号は、認定すべきものと決定をいたしました。

次に、認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について採決をいたします。

認第2号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関秀一委員長 起立全員であります。よって、認第2号は、認定すべきものと決定をいたしました。

次に、議案第68号 平成28年度長井市水道事

業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について採決をいたします。

議案第68号について、原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○小関秀一委員長 起立全員であります。よって、議案第68号は、原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

以上で決算特別委員会に付託になりました議案の審査は全て終了いたします。

最後にお諮りいたします。本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第102条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小関秀一委員長 ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定をいたしました。

また、来る28日の本会議における本委員会審査報告の文案につきましても、私に一任くださるようお願いを申し上げます。

閉 会

○小関秀一委員長 決算特別委員会はこれをもって閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

午前11時22分 閉会

会議録署名

委員長 小関 秀一